

# おおの 社協だより

第208号  
企画・編集・発行  
社会福祉法人  
大野市社会福祉協議会  
大野市ボランティアセンター  
大野市共同募金委員会  
大野市天神町1-19  
☎65-8773  
印刷・(株)松浦印刷所

思い思いに  
作ったぞ!

# 迎春

平成31年 元旦



和泉デイサービスセンター「わくわく館」で、新年を迎えるにあたり、利用者がトイレットペーパーの芯を使った門松づくりを行いました。

この門松作りは、師走の恒例行事で、今回はサロン和泉(朝日区)との交流会を兼ねて開催。利用者は職員の手導のもと、思い思いに作業に取り組んでいました。出来上がった門松は、ご家庭に持ち帰り、正月飾りの一翼を担います。

~~~~~

平成30年9月30日で和泉地域福祉センターが供用廃止されるのに伴い、10月1日から大野市社会福祉協議会和泉支所が和泉デイサービスセンター「わくわく館」内に移転しました。

これからも、和泉支所では、和泉地区での地域福祉活動を支援します。

【大野市社会福祉協議会和泉支所】  
住所 大野市朝日23-21  
電話 78-12900  
FAX 78-12728



この社協だよりは赤い羽根共同募金の配分金を活用して発行しています。

「結の心でつながる福祉のまち」を  
目指して



社会福祉法人  
大野市社会福祉協議会

会長 金 森 閱 治

新年あけましておめでとうござい  
ます。

皆さまには、ご健勝で新年を  
お迎えのことと、心より喜び  
申し上げます。

旧年中は、大野市社会福祉協  
議会の運営並びに事業活動に対  
しまして、多大のご支援、ご協  
力を賜り、衷心より厚くお礼を  
申し上げます。

さて、ご承知のように近年に  
おける福祉を取り巻く環境はめ  
まぐるしく変化しており、少子  
高齢化の急速な進展や核家族化  
に伴う家庭・家族の介護力の低  
下など様々な要因を背景にこれ  
からの地域福祉の在り方が問わ  
れていきます。

特に、認知症高齢者や一人暮  
らし高齢者が増加し、地域社会  
や家族形態が変化化する中、介護  
保険では対応できない生活支援  
ニーズや社会的孤立、貧困等を  
背景とする深刻な福祉・生活課

題が顕在化しています。

こうしたことへの対応にあた  
っては、公的な制度に基づくサ  
ービスや支援だけでなく、普段  
から地域の人たちと顔の見える  
関係になり、互いに支え合う地  
域づくりが大切であります。

そのため、本協議会では、第  
四次地域福祉活動計画に掲げる  
「結の心でつながる福祉のまち」  
づくりに、鋭意取り組んでおり  
ますが、現在、新しい取り組み  
として、認知症、知的障害、精

神障害などによって物事を判断  
する能力が十分でない方の権利  
を守る法人後見事業の立ち上げ  
準備を進めており、より一層の  
地域に根ざした福祉活動を展開  
してまいりたい所存であります。

本年も本協議会の事業推進に  
対し、一層のご支援・ご協力を  
賜りますようお願い申し上げます  
とともに、皆さま方のご健勝  
とご多幸を心からご祈念申し上  
げまして新年のご挨拶といたし  
ます。

多くの善意に  
心から感謝を申し上げます



大野市共同募金委員会

会長 南 部 和 男

あけましておめでとうござい  
ます。

大野市共同募金委員会より謹  
んで新年のご挨拶を申し上げます。

市民の皆さまには、口頃から  
赤い羽根共同募金と歳末たすけ

あい募金運動に温かいご理解と  
ご協力をいただき、厚くお礼申  
し上げます。

共同募金は自分のまちを良く  
する仕組みという趣旨にご賛同  
いただいた大野市区長連合会、  
大野市民生委員・児童委員協議  
会をはじめ関係諸団体、ボラン  
ティア団体並びに事業所の皆さ  
まに地域・職域・街頭で募金活動  
に取り組んでいただいた結果、

大変多くの善意の募金をいただ  
くことができましたことを重ね  
てお礼申し上げます。

大野市で集まりました皆さま  
の尊い浄財は、誰もが幸せに暮  
らせるまちづくりのために大野  
市社会福祉協議会をはじめ、地  
域の皆さまが取り組まれている  
地域福祉活動や各種団体による  
福祉事業に配分され、活用され  
ることになっております。

赤い羽根共同募金の  
実績中間報告

皆さまにご協力いただいています  
赤い羽根共同募金の実績中間報告です。  
ご協力ありがとうございます。

(平成30年12月15日現在)

| 募金方法   | 一般募金      | 歳末募金      |
|--------|-----------|-----------|
| 戸別募金   | 4,158,500 | 397,400   |
| 街頭募金   | 186,544   | 13,761    |
| 法人募金   | 1,081,000 |           |
| 学校募金   | 28,506    |           |
| 職域募金   | 125,986   |           |
| イベント募金 | 257,358   |           |
| 個人募金   | 19,751    |           |
| その他の募金 | 90,150    | 5,031     |
| 合計     | 5,947,795 | 416,192   |
| 目標額    | 6,577,000 | 1,170,000 |



# 大野市共同募金委員会が先進地視察研修

大野市共同募金委員会は11月12日(月)に、先進地視察研修として滋賀県東近江市共同募金委員会を訪問しました。

東近江市が取り組んでいる「売り手よし・買い手よし・東近江よし」の三方よしを進めるプロジェクト『募金百貨店プロジェクト』や、次代を担う子どもたちのための「見守り活動スタートアップ助成」などについて事務局から説明を受けました。

その後、意見交換会が行われ、東近江市共同募金活動の取り組みや、大野市共同募金委員会の募金の集め方など、様々な意見が飛び交い、あらためて共同募



班に分かれて意見交換



活発な意見が飛び交いました



東近江市共募のオリジナルグッズ

金の大切さを知る有意義な研修、意見交換会となりました。

# 2会場で共同募金PR活動

和泉小学校児童も共同募金PR活動に協力



10月20日(土)・21日(日)の2日間にわたって、越前おおの産業と食彩フェアの会場でも、翌週の10月27日(土)・28日(日)の2日間にわたって九頭竜紅葉まつりの会場でも、共同募金PR活動を行いました。

越前おおの産業と食彩フェアの会場では、当日は好天に恵まれ、たくさんの方が来場され、募金に協力してくださいました。

## 久しぶりやおも。またおも。

ひとり暮らし高齢者のついで「かたらいの会」を開催

11月23日(金)に、ひとり暮らし高齢者にとこの場を提供

することにより、参加者同士の交流の輪をひろげるとともに、高齢者の孤立を防ぐことを目的として、ひとり暮らし高齢者のついで「かたらいの会」を開催しました。

当日は、申込のあった134人とボランティア17人が参加。

金森関治大野市社会福祉協議会会長の挨拶の後、劇団「幸齢者」の林幸男座長が笑い稽古「三七拍子」で会場を笑いでいっぱいにした後、道場了鳳(みちばりようほう)氏の尺八演奏、鈴木文字子氏の吟舞を堪能し、劇団「幸齢者」による演劇『絵姿婆女房』を観劇。



会場は笑いでいっぱい



劇団「幸齢者」の演劇

昼食後は、澤崎和子氏のオカリナ演奏・片山千代子氏のコカリナ演奏で音色を楽しみ、劇団「幸齢者」による演劇「おもちゃでだんまりくらべ」を観劇し、参加者らは、充実した一日を送りました。



和泉小学校児童も共同募金をPR

多くのご協力・ご厚意に感謝申し上げます。

大野市社会福祉大会開催

社会福祉貢献  
1団体・10人を表彰

9月22日(土)、多田記念大野有終会館305・306号室で、平成30年度大野市社会福祉大会が開催され、市民約300人が参加。

最初に式典が行われ、国歌斉唱、物故者への黙祷の後、奥越明成高校ボランティア部副部長の石田朱里さんの先導のもと、来場者全員で大野市民憲章と大野市教育理念を唱和しました。続いて、金森閑治大野市社会福祉協議会会長及び石山志保大野市長が挨拶を行いました。



金森大野市社協会長のあいさつ



表彰状が手渡されました

その後、長年地域の福祉向上にご尽力されたボランティア功労者(1人)・地域福祉推進功労者(8人)の各表彰と、金品寄付の感謝状贈呈(1人・1団体)が行われ、廣田憲徳大野市議会副議長と山岸猛夫福井県議会議員、高松康二福井県社会福祉協議会専務理事から来賓祝辞をいただきました。

式典に続いて、経済アナリストの森永卓郎氏の記念講演が行われ、ユーモアあふれるトークに会場は笑いが絶えず、分かりやすく日本経済の現状などを話されました。

表彰等の受賞者、団体は次のとおりです。

大野市社会福祉協議会会長表彰 (敬称略)

【ボランティア功労者】  
谷 美枝子



手話サークル名水が手話通訳

冬に向けて火の用心!

和泉地区一人暮らし高齢者宅防火査察

11月8日(木)・9日(金)の両日、和泉地区福祉委員会(上田隆澄会長)は、大野市消防署の協力を得て、一人暮らし高齢者宅防火安全見守り活動を行いました。

これは、暖房器具を使用する時期になり火災等の危険性が高くなる冬を前に一人暮らし高齢者の危険を少しでも減らし安心して生活してもらうために実施するものです。

当日は、福祉委員6人、大野市消防署員6人が参加し、6班に分かれ一人暮らし高齢者宅を訪問。台所や、ガスボンベ、石油ストーブ等を点検、冬期間の注意点など指導していきま



森永卓郎氏の記念講演

- 【地域福祉推進功労者】
- 上田 隆澄
  - 河合 ひろみ
  - 菅原 慶子
  - 寺嶋 勉
  - 布川 英法
  - 道岸 浩子
  - 山川 和子
  - 米倉 治一
- 【金品寄付感謝状贈呈】
- J A テラール越前女性部
  - 松田 政治



消防署員と共に安全確認

見守り活動を受けた高齢者からは、「これで安心して冬を迎えられるのぉ」と安堵の表情が見られました。



# あなたの暮らしの “あんしん”をお手伝いします

## 日常生活自立支援事業ってどんな事業なの??

毎日の暮らしのなかにはいろいろな不安や疑問、判断に迷ってしまうことがたくさんあります。このような場合に、日常生活自立支援事業は、福祉サービスの利用手続きや、金銭管理のお手伝いをして、住みなれた地域で安心して生活が送れるようサポートします。現在34の方が利用しています。

### Q どんな人が利用できるの??

**A** 認知症高齢者・知的障害者・精神障害者など判断能力が不十分な方、自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な方、お金の管理に困っている方などが利用できます。

※施設や病院に入所、入院した場合でも利用できます

福祉サービスを使いたいが、  
どうすればいいかわからない方

書類がくるけど、  
どう手続きしたらいいかわからない方

最近物忘れが多くて  
預金通帳をどこへ保管したかわからなくなる方

計画的にお金を使いたいけど、  
いつも迷ってしまう方



### Q どんなサービスがあるの??

**A** 福祉サービス利用の申し込み、契約手続き、日常のお金の出し入れ、預金通帳の預かりなどのお手伝いをします。

福祉サービスを安心して利用できるように  
お手伝いします

毎日の暮らしに欠かせない、  
お金の出し入れをお手伝いします

日常生活に必要な  
事務手続きのお手伝いをします

大切な通帳や証書などを  
安全な場所でお預かりします



### Q サービスの利用に費用はかかるの??

**A** 相談は無料、サービスは有料です。  
相談や支援計画の作成にかかる費用は無料です。福祉サービス利用手続き、金銭管理などのサービスを利用する際は料金がかかります。

### Q どうすればサービスが利用できるの??

**A** まずは下記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

大野市社会福祉協議会 大野市高齢者・障害者日常生活自立支援センター  
大野市天神町1-19 大野有終会館「結とびあ内」 ☎ (0779) 65-8773



デイサービスで傾聴ボランティア

## こんにちは！ 大野市ボランティアセンターです！



大野市社会福祉協議会が運営する大野市ボランティアセンターでは、ボランティアをしたい方、ボランティアを依頼したい方のご相談を受け付けています。「ボランティアがしたい」「ボランティアがほしい」といった相談は多種多様です。個人から

組織に至るまで、幅広く相談に応じています。専門機関との連携を強化し、関係機関・団体間の調整も行っています。また、情報発信として、ホームページや社協だよりを活用し、リアルタイムの発信に努めています。

ボランティアに興味のある方は大野市ボランティアセンターへお越しください。電話によるご相談も受け付けています。

### ○どこにあるの？

場所は大野有終会館（結とびあ）2階の南側にあり、平日は午前9時から午後5時まで開所しています。

午前中は、ボランティア、午後は職員が在駐しています。事前予約で夜間や土日祝日の利用(無料)も可能です。

### ○何があるの？

ボランティアがちょっとした打ち合わせや会議で使用できるスペースや、情報発信として各種チラシやポスター等も展示しています。

音訳ボランティアが利用する録音室を設置しています。

### ○ボランティアについて学びたい

ボランティアをしたい人に幅広い理解を進めるための研修会や講習会を開催しています。

## ボランティアを知ろう！

### 【ボランティア活動って何？】

**○自主性・主体性**  
他から強制されたり、義務としてではなく、自分の意思で行う活動です。

**○社会性・連帯性**  
誰もがいきいきと豊かに暮らしていけるように、お互いに支え合い学びあう活動です。

**○無償性・無給性・非営利性**  
報酬や金銭的な見返りを求めない活動です。しかし、出会いや発見、感動、喜びなど、お金では得られない精神的な報酬を得ることが出来ます。



ふれあい広場でボランティア



ボランティアによる餅つき

といった上下関係や依存的関係では対等とはいえません。ボランティア活動は自分が望んで選んだ活動であり、これは受け入れる側も同じことなのです。

### ○約束や秘密は絶対に守る

当然のことですが、時間を含む約束や活動で知り得た秘密は厳守です。約束に無断で遅れたり、休んだり、個人的な情報を他人に漏らすことは信頼関係を損なうだけでなく、あなた自身が疑われてしまいます。ボランティア活動だけでなく全てに共通することなので注意しましょう。

### ○無理をしないこと

自分の生活や体調まで崩してしまうような活動でなく、自分のできる時に、できる範囲で行い、できない時はできないと断る勇気は対等な関係を築くうえでも大切なことといえます。

### ○安全な活動のためにボランティア活動保険に加入しましょう

安心してボランティア活動を行つために事故などの対策としてボランティア活動保険に加入しましょう。

大野市社会福祉協議会で加入できますので（Ａプラン350円）お気軽にお立ち寄りください。

### 【ボランティアの心がまえ】

#### ○身の回りのことから手がけましょう

私たちの周り(地域)には、身近な問題があります。まず、小さなことから始めて、大きな課題に取り組んでいくことが大切です。できることから始め、足もとをかためていきましょう。

#### ○対等な関係を目指しましょう

「つなげね」「つなぐらひ」

麻那の会 おめでと〜ございませ〜!

音訳ボランティア活動が認められ  
厚生労働大臣表彰受賞



音訳活動の様子

大野市ボランティア活動ネットワークの音訳ボランティア「麻那の会」(鳥山陽子代表)が、日頃のボランティア活動の実績が認められ、厚生労働大臣表彰を受賞されました。



鳥山会長らが市長を表敬訪問

「麻那の会」は、大野市社会福祉協議会が1989年に開催した音訳ボランティア講座受講の1期生メンバーが集まり設立。現在は8期生までが活動に参加しています。

グループ設立時から毎月、広報おおの、議会だより、社協だよりをテープに録音し、約20人の視覚障害の方と図書館へ送付して視覚障害者の支援活動に取り組んでいるほか、依頼があれば他の読み物も録音し、送付しています。

また、自主的に月1回、勉強会を開催し、音訳技術向上を図っています

受賞を受け、12月7日(金)に大野市長を表敬訪問し、鳥山会

長が日頃の音訳ボランティア活動について説明。

石山市長も、音訳ボランティア活動を労いました。

大野市ボランティア活動ネットワークでは、この受賞で、ボランティア全体の士気が上がり、自信につながることを期待しています。

福井県ボランティアセンター「マスコットキャラクターコンテスト」をモデルとした、ご当地の良さをアピールできる服装や持ち物の「あなたのまちのランティーコンテスト」で最優秀賞を受賞した田中萌々香さんがデザインした大野市ボランティアセンター「マスコット」です。



福井県ボランティア作文コンクールに  
石本君・奥村氏が入賞

福井県社会福祉協議会は、作文を通じて、県民の皆さまのボランティア活動への関心や参加意欲を一層高めてもらうとともに、世代を超えた福祉教育の推進を図ることを目的に福井県ボランティア作文コンクールを行っています。

今年度は「ボランティア活動の経験から得たこと・感じたこと」をテーマに募集をし、厳正な選考の結果、最優秀賞4人、優秀賞

4人、入選14人、学校賞1校を決定しました。小学生の部で、大野市有終西小学校6年の、石本和輝君が、また、一般の部で、大野市の奥村直子氏の作品がそれぞれ入賞しました。

石本君・奥村氏の作品は、福井県社会福祉協議会ホームページから閲覧できます。

【福井県社会福祉協議会  
ホームページアドレス】  
<http://volunt.shakyo.or.jp/>

大野市ボランティアセンターが  
ボランティア紹介冊子を作成

大野市社会福祉協議会では、大野市のボランティアの広報を目的として大野市ボランティア紹介冊子を作成しました。

A4版で、8ページの冊子は、ボランティアの説明や活動内容、大野市内のボランティア団体の紹介もあります。

なお、この冊子は、各公民館などにも配布しています。



ボランティア紹介

